

# 「福島県の道路の将来像」中間とりまとめ（案）修正過程について

## 第1回・第2回懇談会で提示した「福島県における現状と課題」「福島県の道路の将来像」中間とりまとめ（案）の構成

## 第3回懇談会に向けて修正した「福島県の道路の将来像」中間とりまとめ（案）の構成

### ○第1回懇談会で提示した「福島県における現状と課題」

- 1 時代潮流の認識
- 2 福島県の現状と課題
  - (1) 豊かな自然環境
  - (2) 特色ある県土構造
  - (3) 有利な地理的条件
  - (4) 厳しい自然条件
  - (5) 人口・産業構造
- 3 福島県の道路の現状と課題
  - (1) 道路・交通の現状
  - (2) ネットワークづくり
    - 1 県土の均衡ある発展のためには、7つの生活圏の一層の連携・交流が必要（高速道路・地域高規格道路の整備）
    - 2 高い自動車依存度にも関わらず全国に比べ遅れている道路網の整備（地域間を連携する道路の整備）
    - 3 県内に有機的に結ぶ道路網の形成が必要（交通不能区間の解消）
    - 4 物流拠点を連携するネットワークの強化が必要（25t車両が自由に通行可能な道路の整備）
  - (3) 生活環境づくり
    - 1 災害に影響されない安全で安心できる信頼性の高い道路の確保が必要（災害に強い道路の整備）
    - 2 経済活動や日常生活を支える上で、冬期交通の確保が重要（冬期交通不能区間の解消）
    - 3 道路サービスの確保が生命の安全に大きな影響（救急医療など地域生活を支える道路の整備）
    - 4 増加する交通事故発生件数に対応した交通環境の改善が急務（歩道の整備）
    - 5 少子・高齢化社会に対応した生活空間の確保（バリアフリー化の推進）
    - 6 道路ストックの信頼性を維持することが重要（維持管理の充実）
  - (4) まち（地域）づくり
    - 1 都市部の幹線道路を中心に交通渋滞が発生（交通渋滞の解消）
    - 2 景観に配慮した道路空間の整備（電線類の地中化）

### ○第2回懇談会で提示した「福島県の道路の将来像」中間とりまとめ（案）

- 4 計画策定の趣旨
- 5 「うつくしま21」「うつくしま建設プラン21」との関係
- 6 計画の基本目標
- 7 道路整備の基本的な考え方
  - (1) 道づくりの基本的な考え方
    - ① 県土のランドデザインに立った計画的な事業の展開
    - ② 重点的・効果的な事業執行～スピーディーな道づくり～
    - ③ 量から質への転換
    - ④ 建設主体から管理重視へ
  - (2) 道づくりの具体的な考え方
    - ① 地域社会との調和
    - ② 公共交通機関との連携
    - ③ 地域の実情にあった柔軟な対応
    - ④ 道路整備にあたってのしくみづくり
    - ⑤ 総合的な道路行政による展開
- 8 本県の現状と課題などから導き出される道路整備の方向性
  - ① 道路の現状と課題から導き出される道路整備の方向性
  - ② 県民ニーズから導き出される道路整備の方向性
  - ③ 懇談会各委員の意見から導き出される道路整備の方向性
- 9 道路整備の基本方針
 

基本方針① 広域的な連携・交流を促すふくしまの道づくり

基本方針② 地域連携・地域生活を支えるふくしまの道づくり

基本方針③ 安全で安心な暮らしを支えるふくしまの道づくり

基本方針④ 雪や寒さを克服するふくしまの道づくり

基本方針⑤ 思いやりを持ったふくしまの道づくり

基本方針⑥ 維持管理の充実を図るふくしまの道づくり

基本方針⑦ 都市の活動を支えるふくしまの道づくり

基本方針⑧ 自然環境や景観と調和したふくしまの道づくり
- 10 道路整備の基本方針とアウトカム・アウトプット指標の検討（案）

### ○第2回懇談会で提示した「基本方針毎の主な施策の事例」

### ○「福島県の道路の将来像」（福島県新道路計画）

- はじめに
- 1 計画策定の趣旨
  - 2 計画の特徴
  - 3 上位計画との関係
  - 4 計画の構成・内容
- 第1章 基本構想
- 第1節 時代潮流の認識
- 1 社会の成熟化
  - 2 環境との共生
  - 3 大交流・大競争の時代
  - 4 情報の進展
- 第2節 本県の県土構造と特性
- 1 豊かな自然環境
  - 2 特色ある県土構造
- 第3節 本県の道路の現状と課題
- 第4節 道路整備についての現状認識と方向性
- 1 道路整備についての現状認識
  - 2 道路整備についての課題と方向性
- 第5節 道路整備の基本的な考え方
- 1 計画的な事業展開による多極ネットワークの形成
  - 2 地域社会との調和
  - 3 安全で安心できる生活環境の確保
  - 4 冬期交通の確保
  - 5 質の高い道路の整備
  - 6 維持管理の充実
  - 7 公共交通機関との連携
  - 8 自然環境や景観への配慮
- 第6節 道路整備の基本方針
- 第2章 基本計画
- 第1節 基本方針別整備計画の施策体系
- 1 交流・連携（ふれあい）
  - 2 暮らし・安全（あんしん）
  - 3 まち・活力（いきいき）
  - 4 環境・景観（うるおい）
- 第2節 施策展開にあたっての進め方
- 1 重点化・効率化によるスピーディーな事業展開
  - 2 地域の実情にあった柔軟な対応
  - 3 道路整備にあたってのしくみづくり
  - 4 総合的な道路行政による展開
  - 5 評価システムの構築
- 資料
- 1 基本方針別アウトカム・アウトプット指標（案）
  - 2 基本方針別整備計画の具体例
  - 3 道路に関する意識調査
  - 4 福島県のCS（利用者ニーズ・満足度）調査の結果概要－全県版－
  - 5 福島県のCS（利用者ニーズ・満足度）調査の結果概要－生活圏別－
  - 6 福島県新道路計画への意見募集結果概要－速報版－
  - 7 福島県新道路計画懇談会の議事要旨

第2回懇談会で提示した「計画策定の趣旨」「上位計画との関係」について、グループ化し、内容の充実を図った。

第1回懇談会で提示した「福島県における現状と課題」から、時代潮流を踏まえて今後の道路整備がどのように進むべきかを記載した。

第1回懇談会で提示した「福島県における現状と課題」から、本県の現状を記載した。

第1回懇談会で提示した「福島県における現状と課題」から、本県の道路の現状と課題を記載した。

第2回懇談会での各委員の意見を踏まえて、「現状認識」「課題と方向性」を追加記述し、内容の充実を図った。

第2回懇談会で提示した「道路整備の基本的な考え方」の基本的な考え方と具体的な考え方について、道路に直接関連する事項に加筆修正及び選択し、8項目にグループ化を図った。この視点は、道路整備の基本方針に直接結びつく視点であり、道路整備の大局的な考え方として捉えられるものである。

「道路整備の基本方針」は、4つにまとめ、さらに基本方針別の整備計画として8つの方向性を提示した。

「道路整備の基本方針」及び「基本方針別整備計画」、さらには、各施策を体系的に記述した。

「道路整備の基本方針」及び「基本方針別整備計画」について、第1回懇談会で提示した「福島県の現状と課題」の図・表等を取り込んで具体的な解説を作成した。

第2回懇談会で提示した「道路整備の基本的な考え方」の基本的な考え方と具体的な考え方について、道路整備の基本方針やそれを受けた主な施策に取り組む際の共通する認識として加筆修正及び選択し、5項目にグループ化を図った。この視点は、道路管理者が常に意識すべき観点として捉えられるものである。

「道路整備の基本方針」及び「基本方針別整備計画」ごとのアウトカム指標・アウトプット指標を記述した。

「道路整備の基本方針」及び「基本方針別整備計画」についての具体的事例として、「基本方針毎の主な施策の事例」を取り込んで作成した。

### 「福島県の道路の将来像」中間とりまとめ

- 第3章 実施計画
- 第1節 道路整備に関するプログラム

「福島県の道路の将来像」中間とりまとめは、11月末までに策定を図る。

### 「福島県の道路の将来像」策定

今後は、道路整備における具体的な事業箇所を示す「道路整備に関するプログラム」を作成し、「福島県の道路の将来像」を策定する。